



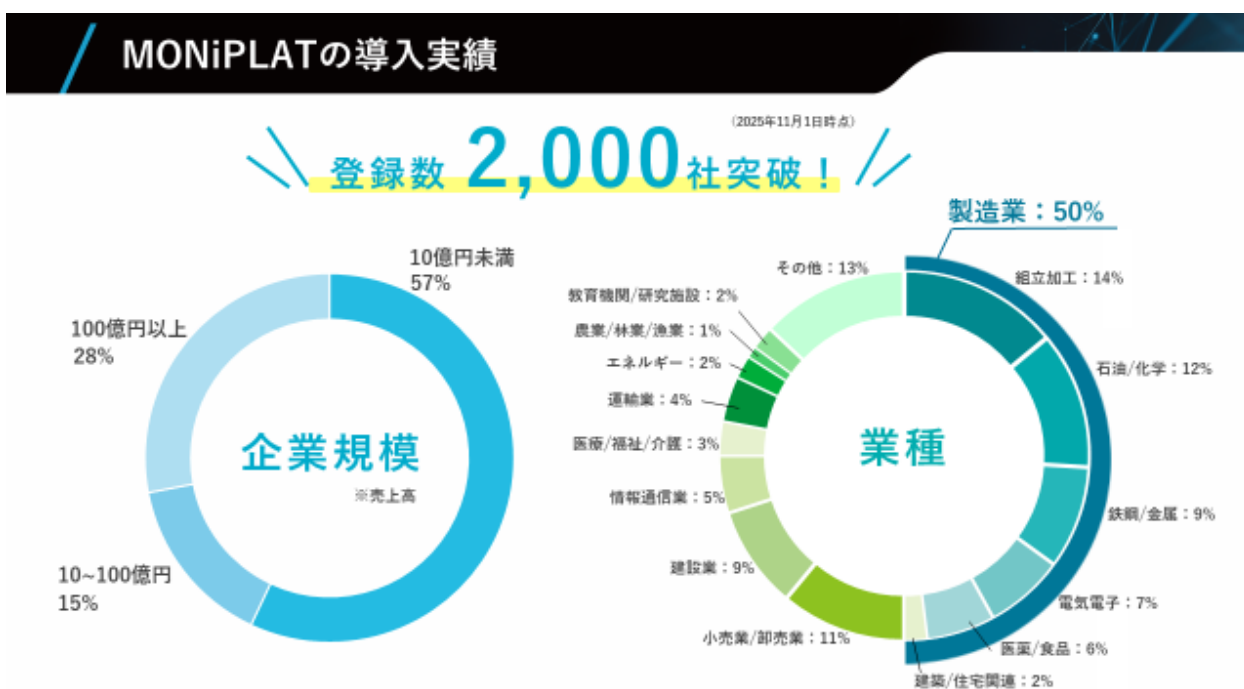
設備点検プラットフォーム「MONiPLAT®」、導入社数 2,000 社を突破 ～ 現場の声とともに進化する“点検 DX” が、産業の安全と効率化を支える ～

株式会社バルカー（本社：東京都品川区、代表取締役会長 CEO：瀧澤利一、以下バルカー）は、設備点検プラットフォーム「MONiPLAT（モニプラット）」の導入企業が、2023 年 4 月のサービス提供開始から 2 年半で累計 2,000 社を突破したことをお知らせします。製造業を中心に多様な業界での導入が進み、現場の DX 化を後押ししています。

■ 現場起点で進化する「MONiPLAT®」

MONiPLAT は、現場での点検業務をデジタル化し、「安全・効率・継続性」を高めるプラットフォームです。導入企業からのフィードバックをもとに、直感的な操作性や柔軟な点検設計機能を強化。紙や Excel での管理から脱却し、点検データの一元管理・共有を実現しています。

■ 2,000 社が実感するデジタル化による価値創造



MONiPLAT の導入実績分布図

製造業（試作メーカー）

「紙で管理していた点検記録の確認に時間がかかっていましたが、MONiPLAT 導入後は過去の履歴をすぐに確認できるようになり、業務効率が大きく向上しました。」

製造業（生産設備管理）

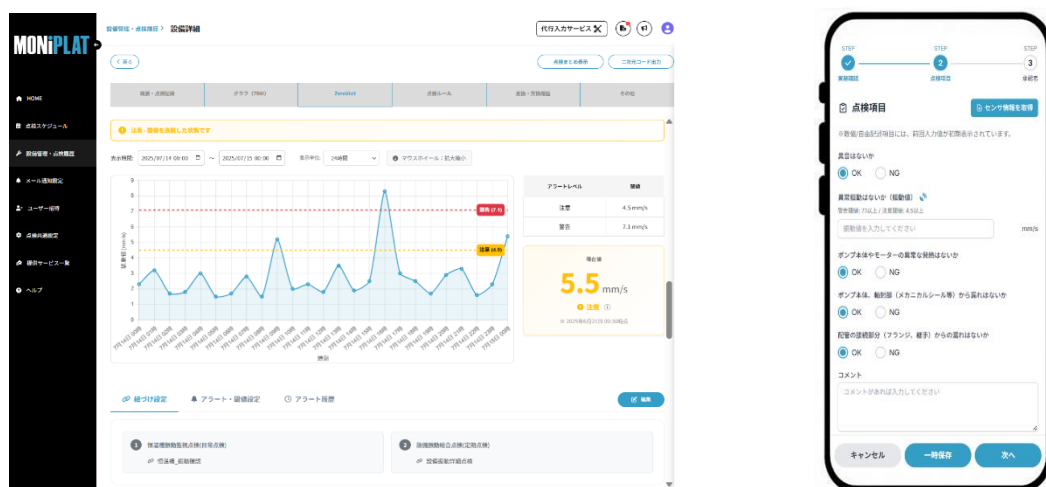
「帳票のデジタル化を検討していましたが、サポート体制が充実しており、導入後すぐに運用を開始できました。シンプルでわかりやすい操作性が現場にも好評です。」

製造業（化学メーカー）

「現場の要望を的確に反映し、迅速にアップデートしてくれる点に信頼を感じています。操作性の改善も進み、現場の声を反映した進化に期待しています。」

■ 予兆保全・自動化への進化

バルカーは点検データの活用を軸に、異常傾向の可視化や CBM（状態基準保全）機能の強化、さらに IoT との連携による遠隔モニタリング体制の充実を推進しています。2025 年 9 月 30 日には、巡回点検工数ゼロを目指す新機能「ZeroVisit™」をリリースしました。これにより、各種センサから取得されたデータを自動で点検帳票に転記することが可能となり、巡回点検工数の大幅な削減につながります。今後も、設備保全の質とスピードをさらに高め、産業全体の安全性向上に貢献してまいります。



「ZeroVisit」の使用イメージ

■設備点検プラットフォーム「MONiPLAT®（モニプラット）」とは

設備管理デジタルサービスの「一元管理」ツールで、現場管理の基本である定期点検にフォーカスしたサービスです。現場で行われているアナログな紙での点検業務を、スマートフォンやタブレットで簡単にペーパーレス化。スマートフォンやタブレットでの点検設備の検索・点検報告書作成やリアルタイムでの承認申請に加え、複雑で煩雑な設備点検のスケジュール管理や点検予定のリマインドも可能。それに加え、予知保全サービスとも連携したワンストップ管理が可能なプラットフォームとして、利用可能サービスを今後もさらに拡大していく予定です。

URL: <https://moniplat.valqua.co.jp/>

ひとつのプラットフォームで状態監視CBMも定期保全TBMも

アプリでカンタン設備点検、
管理コストの大幅削減を。

MONiPLAT®



2025年度
IT導入補助金 >

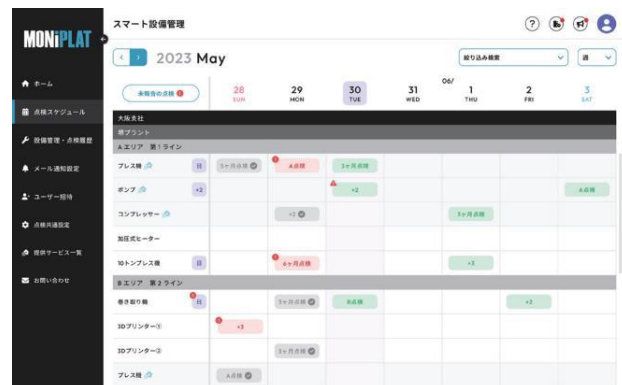
「MONiPLAT」なら、
設備保全のお悩みすべて解決!

資料請求

TBMから無料で始める
(20箇所まで無料)



MONiPLAT の HP トップ画面



＜点検設備の検索＞＜点検報告書の作成＞

MONiPLAT のサービス (スマホイメージ)

MONiPLAT のサービス (PC イメージ)

※「MONiPLAT」と「ZeroVisit」は株式会社バルカーの商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ
株式会社バルカー 広報担当
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560
<https://inquiry.valqua.co.jp/form/ja>

以上